

会報

緑のまち



発行 財団法人 日野市環境緑化協会

〒191-0016 東京都日野市神明2-13-1 電話 042(585)4740

URL <http://www6.ocn.ne.jp/~zhryk/>



苗圃紹介

(苗を育てたり腐葉土を作ったりしている場所)



夏花壇の植付け直前、お花畑の様な光景が広がります。この時ばかりは日頃の苦勞も忘れるほど癒されます。

市内を緑でいっぱいにとしようと協会職員が日夜努力しています。



水やりの風景 (花の時期には休日にも……)

苗圃の1年

- 1月 畑に牛フンを入れ、土づくり
- 2月 公園清掃を中心に繁忙期に備えます
- 3月 市内の春花壇・大型プランター等の植付け
- 4月 夏花壇用の種・苗の植付け
- 5月 かさ菊のさし芽作業
- 6月 市内の夏花壇等の植付け
- 7月 ポットマム・スプレー菊のさし芽作業
- 8月 菊の育苗、市民無料配布
- 9月 菊花コンテスト準備、菊苗配布
- 10月 市内の秋花壇等の植付け
- 11月 市内の冬花壇等の植付け

* 年間を通してボランティアや愛護会、緑化活動員の方々の協力を得て、公園清掃・花壇植付等を行っています。

まちを歩いていると、綺麗な花壇やプランターを見かけることはありませんか？その内のいくつかは緑化協会が管理しているものです。協会の職員をはじめ、ボランティアや愛護会の方々などのたくさんの手で育てられ、植付けられた花々たち！！皆さんに楽しんでいただけたら嬉しいです。

困っています (>_<)

- ① 綺麗な花を手に取りたくなるのか？……絶えることのない悪戯に困っています。
- ② 夏の暑い時期、雑草も元気になり花々が負けそうになります。協会職員も除草作業を頑張っていますが、ごめんなさい！行き届きません。お気づきの方はご連絡をお願いします。

緑。英語ではGreen。でも、私たちが緑のまちなどで使う緑は訳すとPlantsのようですね。日野市環境基本計画でもPlantsと訳されています。

リリリーン。「庭の手入れ頼みたいんだけど」協会の時々かかってきます。緑のまちをご覧ください、と答えたいですね。来年は広告を掲載します。

安全緑地をご存知ですか？

まちかどで、ハッとしたり、ひやっとしたり。もう少し見通しが良ければと思うことはありませんか？

小さな子どもにとって、巨大な壁になっているかもしれない。「死角をなくし、安全なまちを」と公園などの角を安全な緑地へと作り変えています。

日野中央公園の安全緑地の設置



▲工事前

ふつうの公園の光景です。

◀工事後

驚くほどの見通しの良さ。

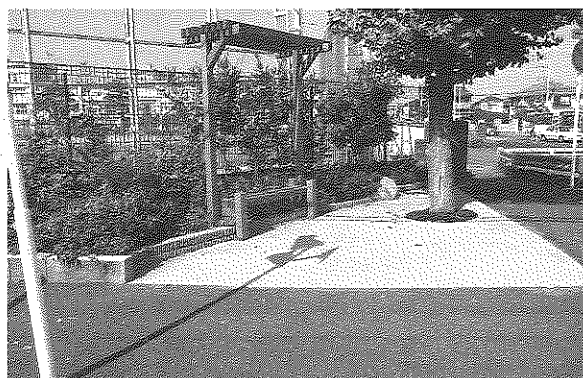


〔市立病院〕北西角



〔EPSON〕南西角工事中

緑のまち第31号にて紹介した安全緑地ですが、その後市内各地に設置が進みました。



〔七生中学校〕南東角

NPO法人日本公開庭園機構からの提案で市内各所に設置を進めているものです。公園、学校、団地、事業所へと設置がひろがっています。

植物の冬越し

温暖化とはいえ、冬は植物にとっては、厳しい季節。葉を落とし寒さに耐える木、硬い芽で春を待つ木、色々です。冬も観察の機会です。

日野市の緑地の変遷

市内の所々に残っている雑木林は、昔は薪炭林として暮らしたとともにありました。今は環境林として市民に親しまれています。

日野市の公園面積は？

1,486,674㎡(19年度)です。東京ドームの32個分。年々増加しています。特に街区・近隣・地区公園・都市緑地が増加しています。

緑の募金 他市との比較

(平成19年度実績)

- 1位 日野市 2,066,787円
- 2位 台東区 1,367,760円
- 3位 八王子市 1,253,248円

農地を大切に

日野の懐かしい原風景レンゲ畑や青々とした田んぼを大切にしましょう。



平成19年度決算額及び平成20年度予算額

《収入額比較一覧表》

科 目	平成19年度 決算額 (円)	平成20年度 予算額 (円)
基本財産運用収入	978,958	600,000
事業収入	1,236,680	693,000
補助金等収入	44,007,422	46,700,000
寄附金収入	1,324,889	1,141,000
雑収入	27,656	2,000
前期繰越収支差額	4,957,795	1,000,000
収入合計	52,533,400	50,136,000

《支出額比較一覧表》

科 目	平成19年度 決算額 (円)	平成20年度 予算額 (円)
普及啓発費	2,539,636	2,665,000
事業活動費	15,251,497	15,187,000
調査研究費	9,500	30,000
受託事業費	16,888,502	16,900,000
管理費	12,516,165	15,244,000
予備費	0	110,000
支出合計	47,205,300	50,136,000
次期繰越	5,328,100	

「まちをきれいに」 広告を出しませんか？

日野市の公園や花壇は、市や環境緑化協会だけで維持できているわけではありません。もちろんボランティアや愛護会の方々の大きな力があってのことです。

さらに、お店の周りをきれいにしたり、会社や工場の近辺を掃除したり、花を植えたり、自分の庭を周りの人にも楽しんでもらえるように工夫を凝らしたり。

そして、それを見、楽しんでくださる市民の方がいて、市内がきれいに快適に保てます。

「まちをきれいに」と広告を出しませんか？

最下段のひとコマが千円～2千円の予定です。ご連絡を。

※今号は、広告として予定しているスペースをお知らせなどのメモ欄としてみました。

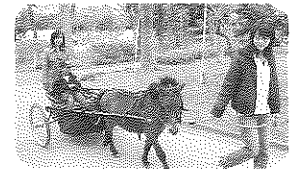
第6回 スプリングフェスタひの



今年も日野中央公園で2日間に渡り盛大に行なわれました。ステージでは市内の団体やプロのバンド、大学生などの演目がありポニーやアンパンマンも遊びに来てくれました。



来年は3月28日(土)・29日(日)に開催いたします。楽しいイベントを計画しますので、皆様是非ご来場下さい。また、カラオケ大会の参加者も募集する予定です。ご期待下さい。



腐葉土の作り方

公園から落ち葉を集め、苗圃で湿らせ米ぬかとかよく混ぜて月1回切り返して2年間積み置き、破碎し2回木の枝や異物を取り除いた土壌改良材です。土ではありません。

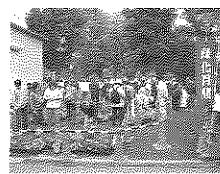
ポットママ 花後の手入れ

鉢から取り出し、根を少し切りゆったりとした場所に、肥料を加えて。

来年楽しむために。

緑のリサイクル

市民の皆様から提供された植物を市民に配布します。



愛護会登録受付

公園の清掃と除草を愛護会も行っています。公園愛護会を作って、一緒に公園をきれいにしませんか。当協会にご連絡ください。

春の一斉清掃、 残念雨でした。

それでも頑張った団体、翌週行った団体、大変ありがとうございました。

毎年5月・11月の最終日曜日です。

平成20年度 上半期事業報告

第4回ガーデニングコンテスト

表彰式：平成20年6月1日(日)
 応募件数：14件
 表彰数：9件



表彰者一覧 (敬称略)

賞	氏名
日野市長賞	勝山 恵子
日野市議会議長賞	齋藤 順子
日野市環境緑化協会理事長賞	黒田 ミツ子
ガーデン&インテリア賞	中津川 幸子
スロープガーデン賞	宮本 順子
生け垣賞	内山 富夫
まち並み賞	末舛 由美子
コミュニティガーデン賞	東光寺小学校 校友会
コミュニティガーデン賞	日野第四中学校ガーデニングサークル

子ども昆虫教室

平成20年7月12日(土) 開催
 講師：矢島 稔氏 (県立くま昆虫の森園長)
 於：都立七生公園
 参加児童：35名



平成20年度 下半期事業計画

今後の講習会予定

- 稲わら竹細工講習会** 平成20年12月4日(木) 開催……申込み受付は終了しました
- 正月の寄せ植え講習会** 平成20年12月11日(木) 開催……申込み受付は終了しました
- 春の草花管理講習会** 平成21年2月12日(木) 開催予定

ご家庭で育てる春の草花の管理方法などを学びます。講師の先生の楽しいお話も聞き逃しませんよ!!

*詳しくは「広報ひの」2月1日号をご覧ください。

ガーデニング講習会 平成21年3月17日(火) 開催予定

楽しく、ためになるガーデニングの方法を学びます。アパート・マンションにお住まいの方も、この機会にプランター等でのガーデニングの方法を学びませんか？
 受講したあとは実践で活用して、来春に行なわれるガーデニングコンテストに応募しましょう!!

職員一同ご参加をお待ちしています。

*詳しくは「広報ひの」3月1日号をご覧ください。

日野市の花壇の花 ピンカ (日々草)



夏の花壇を彩る代表的な草花です。

日野市の花壇の花 マリーゴールド



土壌の線虫などの防除にも使われます。

日野市の花壇の花 ペチュニア



大気汚染の指標にも使われることがあります。

日野市の花壇の花 ポーチュラカ



マツバボタンと同じ仲間です。

コスモス アベニュー



豊田南区画整理地内市民参加で種をまき手入れします。

● ● ● 秋の緑化月間 ● ● ●

● 菊 花 展 ●

菊薫る秋、今年も夏に配布したポットマム・スプレー菊が市民の方々の手によって育てられ、皆様の目を楽しませてくれました。市で育てた大菊・懸崖なども展示しました。

● 配布苗菊花コンテスト ●

期間：平成20年10月28日(火)～11月5日(水)

市民一般の部・老人クラブの部・小学校の部に分けみなさんが丹精込めきれいに咲かせた作品を展示しました。



平成20年 配布苗菊花コンテスト表彰者一覧 (敬称略)

賞 名	市民一般の部			老人クラブの部		小学校の部
	ポットマムの部	スプレー菊の部	大菊の部	P・S菊の部	大菊の部	
日 野 市 長 賞	川面 友子	芹沢美栄子		久和の美会	悠悠クラブ	平山小学校
日野市議会議長賞	佐伯 忠雄	村上 洋子		中部長生会	久和の美会	第三小学校
日野市教育委員会委員長賞						第二小学校
朝日野市環境緑化協会理事長賞	芹沢美栄子	船木ます子	有山 清	悠悠クラブ		東光寺小学校
日野市老人クラブ連合会長賞				四ツ谷永寿会		
日野市菊友会長賞	天野 正次	天野 正次				
東京南農業協同組合組合長賞	佐伯 茂子	栗山 澄子		川北クラブ		
入 選 (市長)	平 信子	山崎 知子		程久保長生会	川北クラブ	第八小学校
	山崎 文子	富沢 栄子				
入 選 (理事長)	栗山 澄子	西村 米子	富沢 栄子	美好会		潤徳小学校
	山鼻 茂子					

● 表彰式 ●

平成20年11月5日(水)

午後2時～ 市民プラザ(市庁舎前)

コンテスト参加作品のなかから、日野市長賞・緑化協会理事長賞等35点を表彰しました。

● 古典菊・大菊の展示 ●

大菊や古典菊の肥後菊・嵯峨菊・伊勢菊・江戸菊など、約200点を展示しました。

● 菊友会菊花展 ●

福助・盆養・切り花など、約150点を展示しました。

● 緑 の 写 真 展 ●

期間：12月8日(月)～12月18日(木)

場所：市役所1階市民ホール

テーマ1 「日野の四季」
 テーマ2 「わが家の緑」
 今年も市民の皆様の応募作品が展示されます。ぜひ、ご覧ください。



花の交流ひろば



善意の交流でもあります。

日野市の花壇の花

サルビア



今年はどういうわけかいたずらで抜かれることがありました。

日野市の花壇の花

パンジー



協会の畑で出番を待つ薬ボタン。冬花壇の主役です。

日野市の花壇の花

パンジー

冬から春の花壇の主役はパンジーです。花ことばは「物思い」



日野市の花壇の花

ペゴニア



暑い夏にも負けないペゴニア。今年も花壇をきれいにかざりました。花ことばは「親切」

小学生からの提案

市内の小学生四、五、六年生を対象に募集した作文「緑のまち」に二七〇一名の児童から応募がありました。学年別では四年生・七九〇名、五年生・一〇五五名、六年生・八五六名でした。この中から、七名の審査委員の審査により入選作一二七編が選ばれました。ここに優秀賞の中から三作品と、審査をいただきました審査委員長の見解を掲載します。

なお、入選作一二七編と、カット五三作品については、別に作文集として発行します。

また、緑化協会ホームページでもご覧になることができますのでぜひご覧下さい。(十二月中旬以降掲載予定)

最初で最後の

浅川サバイバルレース

日野第四小学校

四年 野口あかり

私は今年、浅川サバイバルレースに初めて参加しました。

サバイバルレースは今年が最後で、今まで十九年も続いています。八王子市役所横のつるみ橋から十一キロ先の日野市のふれあい橋まで、自分たちが作りたいかだで下って行くレースです。

待ちに待ったレースが始ま

りました。私は、カブトムシ号に乗りました。

下って行く中、浅い所や深い所、流れが速い所など、川にもいろいろな顔がありま

した。流れている時にオイカワやアユ、ハヤなどが泳いでいたり、ハグロトンボが飛んでいるのが見えました。男の子がアユをつかまえたのを見て私は、「浅川にもアユがいるんだな。」と感動しました。

いつも土手から川を見ているので浅川のまん中からけしきを見ると、ふだんとは全く

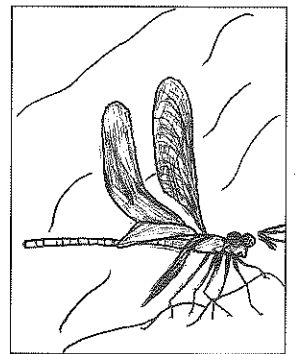
ちがう川に見えました。気になる点もありました。それは、ゴミです。お父さんは、

「昔よりは、だいぶきれいなっている。」

と言っていました。ところが、ところどころにペットボトルや空きかん、コンビニの袋などがすててありました。それには、がっかりしました。下水道が整備されたので、水はきれいになりました。でもその分量がへっているという問題もあるそうです。これらの問題を解決するには、どのようにすればよいのでしょうか。

まず、川にゴミをすてない様に一人一人が心がけることが大切だと思います。水源である森を守り、みんなが川に関心を持って浅川の動植物を守っていくことも大事です。

浅川サバイバルレースは終わってしまったけれど、いろいろなことを学ぶことが出来ました。私たちにとって一番身近で大好きな浅川を、自分の手で守っていこうと思えます。



夏の朝の

貴重な経験

日野第一小学校

五年 西村美帆

八月六日の朝、今日もきびしい暑さになりそうだ。午前五時四十分、私は首にタオルをまき帽子をかぶり、軍手を持って自転車を走らせた。なぜかという今日高幡駅周辺のゴミ拾いに参加する日だからだ。

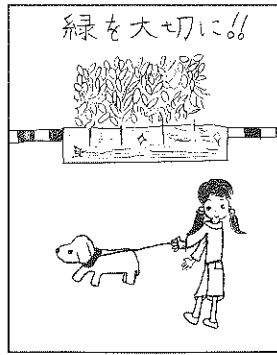
浅川を渡り高幡駅南口に着くとゴミ拾い用トンクとゴミ袋をもらい早速駅前清掃のスタートだ。拾う場所は駅南口から川崎街道までだ。最初は、思ったよりゴミは少なかったが歩いていくうちに、排水口付近のタバコの吸いがらや、

空き缶・ペットボトル、大きい物ではビニール傘やサンダルなども捨てられていた。

駅前通りをすぎるとモノレール通りになる。そこには街路樹が植えられている。その植え込みにかくすようにアメ・ガムの包み紙や、食べ残しを入れたコンビニエンスストアの袋などが捨てられていた。本来街路樹は、木陰を作って、夏の日差しから私たちを守ってくれたり、車道を走る車の排ガスが私たち歩行者に直接かからない様に植えられている物だと思う。そして何よりも、アスファルトだらけの街を目に優しい緑でいやしてくれる物だ。それなのにゴミを捨てるなんて街路樹からの恩恵をうら切るものだと思う。自分の出したゴミは、しっかり持ち帰ってほしいと思った。私はこのゴミ拾いを経験してゴミを拾っている人の苦勞を知った。だから大人になっても、自分のゴミは自分で持ち帰り、道に捨てたりするのは絶対にしたくないと思った。これからは、自分が出来

る限りのごみ減量の努力をし
ていき、未来の私たちの住む
街が緑豊かできれいであるよ
うにしていきたい。

最後にみなさんも近くのゴ
ミ拾いがあつたらぜひ参加し
てみて下さい。きっと色々な
事を気づかせてくれると思っ
ます。



おばあちゃんの梨園

南平小学校

六年 志村音羽

私の家の前には梨園があり
ます。ここは私のお母さんの
実家の梨園で、私も毎年春か
ら夏にかけて色々なお手伝い
をしています。

桜の花が散る頃、梨の白い
花が咲き、梨の仕事が始まり

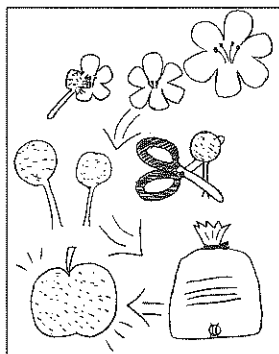
ます。最初の仕事は受粉といっ
て、咲いた花にボンテンを使っ
て花粉をつけていきます。そ
れがピー玉ぐらいの実に育つ
五月中旬、さくらんぼのよう
にたくさんついた実の中から
形のよい物を残していきます。
これは梨を大きく育てるため
の大切な作業です。選ばれた
実にはひとつひとつ袋をかけ
て虫から守ります。私の仕事
はおばあちゃん達にキリフキ
でぬらした袋をわたすこと
です。袋に水をかけると袋がや
わらかくなり、かけやすいか
らです。

梅雨の雨と夏の太陽の光で
梨は袋の中でだんだん大きく
なります。七月下旬になると、
私は梨を送る箱に入れる手紙
を作ります。今年は学校で作っ
た新聞を参考にして梨の新聞
を作りました。記事にはクイ
ズや自分で写した写真も入れ、
買ってくれた人へのお礼の言
葉やおばあちゃん達への質問
ものせました。

亡くなったおじいちゃんが
梨の苗木を植えたのは六十年
も前で、その頃近所には他に

六軒の梨園があつたそうです。
そこで私はその頃の南平の様
子をおばあちゃんに聞きました。
昔は周りに田んぼや畑が
広がる村だったそうです。今
はたくさんの方が建て、梨
園は二軒になってしまいました
た。けれど家の前の梨園には
その頃のままでの自然が残っ
ています。小さい頃から見てき
た景色が、本当は大切な緑で、
おばあちゃん達がそれをしっ
かりと守ってきたのだと思っ
ました。

今年も天気もよく、大きな
梨が育っています。私が書い
た新聞入りの梨が、届いた先
でみんなの笑顔が変わるよう
に、これからも梨園の緑を大
切にして、お手伝いをもっと
がんばってしていこうと思っ
ます。



「自然を見る目を大切に」

審査委員長

旭が丘小学校校長 中島和夫

今年七月、洞爺湖で開かれ

たサミットの席上、全世界の
「温室効果ガス」を二〇五〇
年までに半減するとの申し合
わせが合意されました。最近の
環境に関する話題は、深刻で
あると共にその解決が急がれ
ていることを様々な機会に聞
くことが多くなっています。

人間の経済活動が活発にな
り、ものが豊かで便利な生活
になればなるほど、自然は失
われ、植物や動物、我々人間
にとつてさえ、危機的な状況
を生もうとしています。この
ような中で「自然の豊かさ」
の重要性が叫ばれることが多
くありますが、その時最も大
切なのは、人が自然の素晴ら
しさに感動する心であると思
います。

今年度も緑のまちの作文に
二千七百名以上の皆さんから
の応募をいただきました。そ
して、この取り組みを通しそ
れぞれの皆さんが自らの自然
を感じる心を磨いてくれたこ
とが何よりも大切なことであ
ったと思います。幸い本市は自
然に恵まれ、木々の緑の美し
さや川や用水、湧水の美しさ
を目にすることも多くありま

す。

作文の審査の過程でも、多
摩川や浅川を泳ぐ魚、そこに
やってくる野鳥、私達に憩い
と寛ぎの場を与えてくれる緑、
そこに育まれた昆虫など、多
くの作文がこの豊かな自然を
取り上げておりました。この
自然を感じる心が、これから
の環境保全を進める上で最も
大切なものだと思います。世
界で最も早く一九六〇年代、
「環境問題」に警鐘を鳴らし
たレイチェル・カーソンは、
「センス・オブ・ワンダー」
という本で、美しいもの、未
知なもの、神秘的なものに目
を見張る感性を育むことが大
切であると言っています。

子どもたちそれぞれに自然
を感じる心が育てば、現在の
ような危機的な状況は解消さ
れていくものと思います。

これからも、本市の豊かな
自然環境が維持され、子ども
たちが大人になった時、自然
を愛しみ、この自然と調和し
た生活が営まれ、ものばかり
ではなく心豊かな生活が送れ
ることを願い、緑のまち審査
委員長としての挨拶と致しま
す。

緑の募金報告

今年も例年通り4月・5月を推進月間として取り組んでまいりましたが、自治会・老人クラブ・各事業所等、多くの皆様の緑化に対する深いご理解とご協力により、たくさんの募金が集まりました。

この募金は、東京緑化推進委員会に納入し、森林整備事業や地域緑化の促進等に使われるほか、一部は当協会にも還元され、市内公共施設や公園等の花壇への花卉植付けの費用などに役立らせていただきます。

●募金総額 **1,984,822円**

<内訳>

自治会	986,145円
老人クラブ	139,357円
市立小・中学校	10,636円
私立幼稚園・保育園	42,916円
団体・事業所	576,232円
一般・街頭募金	127,199円
市役所機関	102,337円

ありがとうございました

寄付

当協会では全国規模で行われる「緑の募金」とは別に、年間を通じて寄付の受け付けをしています。いただいた寄付金は、日野市の緑化推進のために役立っています。

〈平成20年度寄付金〉(11月10日現在)

日野自動車さくらまつり実行委員会様	50,145円
青木寛司様	10,000円
高幡台寿会様	1,986円

この他にも協会事務所の募金箱にたくさんのご好意が寄せられています。ありがとうございます。

公園紹介 (四ッ谷下西公園、旭が丘西公園)

四ッ谷下西公園は、当協会に登録している四ッ谷下西公園愛護会が清掃・除草を実施しています。この公園は、高低差のある公園で軽い運動もできる広場を持つユニークな公園です。段差を生かした素晴らしい花壇が整備され、公園利用者を楽しませてくれています。



旭が丘西公園は、旭寿会公園愛護会が清掃・除草を実施しています。この公園は、いつも綺麗に清掃され、広場ではたくさん子どもたちが楽しく遊んでいます。遊具等の点検にも目を配り、安全安心な公園にいつも心を砕いていただいています。

協会は、公園愛護会、花壇愛護会、花壇ボランティア団体・個人などたくさんの市民の方々の力によって、公園の清掃・除草・花壇の植付・管理を行っています。愛護会・ボランティアに多くの方々のご参加をお願いします。

腐葉土・肥料を販売しています

- 腐葉土** …… 公園の落葉を利用し、約2年間かけて作ります。
44ℓ → 800円、20ℓ → 400円、4ℓ → 100円
- 乾燥肥料** …… 油粕・魚粉・米ぬかを材料に発酵させて作ります。地球にやさしい有機肥料です。(緩効性)
約400g → 100円
- 固形肥料** …… 化成肥料を小分けにしています。
約160g → 30円

「ちょっと一息」散歩の途中で公園のベンチに腰掛けてフット上を見上げると……あれ？いつもならこの時期にはほとんど落ちていた落葉樹の葉がまだ木にたくさん！これも地球温暖化の影響かしら？と。数日後、私の手には日野市が行っている「ふだん着でCO₂をへらそう」宣言の申込書。無理なく出来そうなものをメニューから選び参加を決意したのでした。

【K・A】

冬花壇の代表であるパンジー、ビオラが咲いている中で、二月頃から咲き始めるクリスマスローズ。長期にわたり楽しませてくれる花に感動を覚えます。一輪一輪のかわいい花に拍手です。

【F・K】

編集後記

日野の四季

さくら関連のイベントは、日時の設定に苦労します。

雪景色もすっかり少なくなりました。冬は2006年の写真です。

春



さくら満開の日野中央公園
スプリングフェスタにて

夏

協会事務所も緑のカーテンに取り組みました。



秋



市内を彩る菊の花
(日野市の花は菊)

冬



南平丘陵公園